

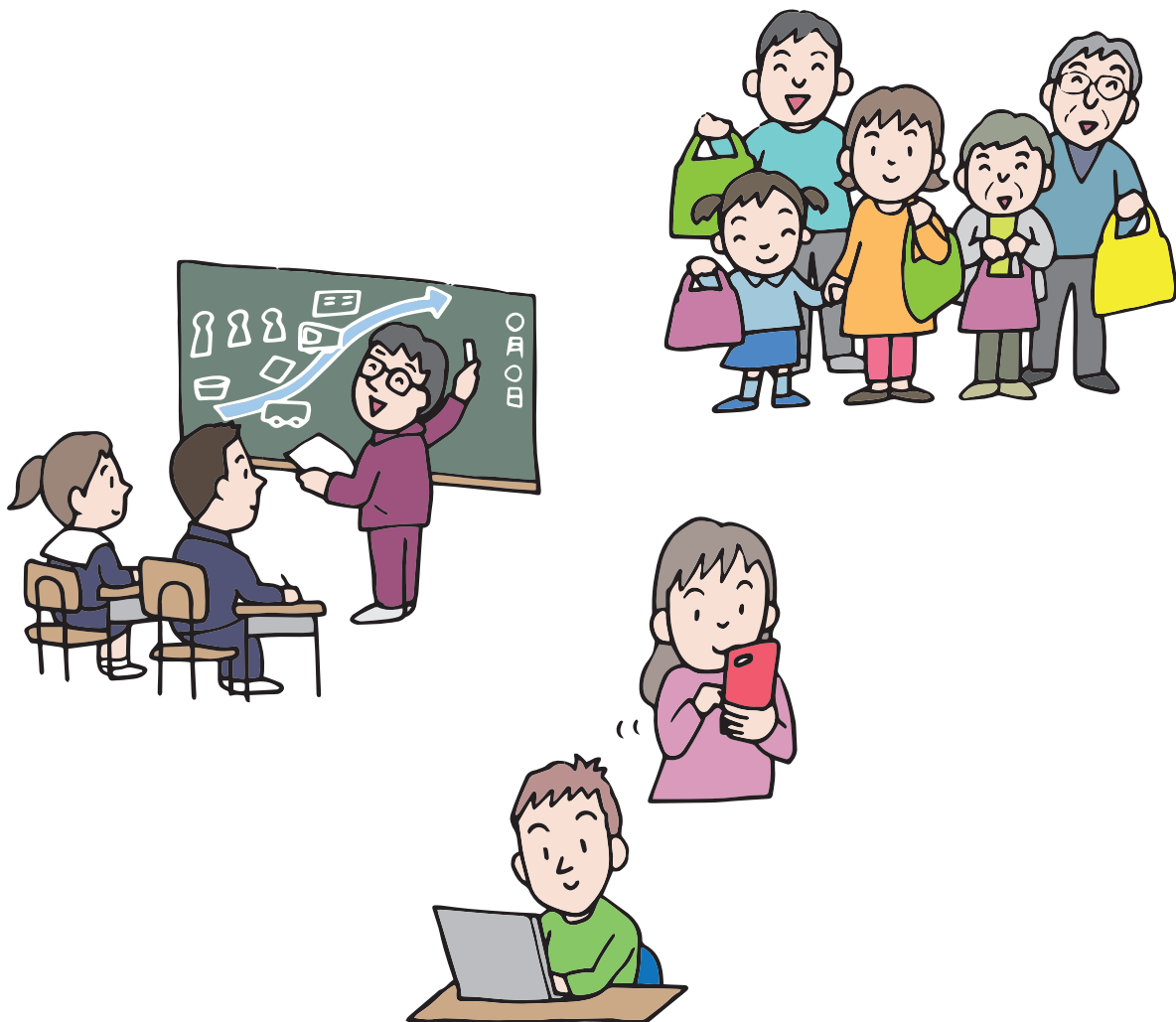
目標2 主体性のある消費者の育成

～消費者の自立支援と持続可能な社会の実現を目指して～

取組1 様々な場における消費者教育の推進

消費者教育は、誰もがどこに住んでいても、生涯を通じて、学校、地域、家庭、職域等のライフステージに応じた様々な教育の場で受けられることが必要であり、幼児期から高齢期までの各段階に応じて体系的に行うことが求められます。

このため、消費者及び消費者教育の推進に従事する者が取り組むべき消費者教育の意義や目標を理解できるよう、「消費者教育の体系イメージマップ」(P.36 参考資料)なども参考にしながら、対象領域ごと、発達段階ごとの学習目標を整理し、全体像を明示し、体系的に推進します。



(参考資料) 消費者教育の体系イメージマップ (2013年1月消費者庁「消費者教育推進のための体系的プログラム研究会」作成)

各期の特徴 重点領域	Ver.1.0			
	幼児期	小学生期	中学生期	高校生期
消費がもつ 影響力の理解	様々な気づきの体験を通して、家族や身の回りの物事に関心をもち、それを取り入れる時期	主体的な行動、社会や環境への興味を通して、消費者としての素地の形成が望まれる時期	行動の範囲が広がり、権利と責任を理解し、トラブル解決方法の理解が望まれる時期	生涯を見通した生活の管理や計画の重要性、社会的責任を理解し、主体的な判断が望まれる時期
	消費がもつ影響力の理解	消費をめぐる物と金銭の流れを考えよう	消費者の行動が環境や経済に与える影響を考えよう	生産・流通・消費・廃棄が環境、経済、社会に与える影響を考えよう
持続可能な消費の実践	身の回りのものを大切にしよう	自分の生活と身近な環境とのつながりに気づき、物の使い方などを工夫しよう	消費生活が環境に与える影響を考え、環境に配慮した生活を実践しよう	持続可能な社会を目指したライフスタイルを考えよう
	持続可能な消費の実践	身の回りのものを大切にしよう	消費生活が環境に与える影響を考え、環境に配慮した生活を実践しよう	持続可能な社会を目指したライフスタイルを考えよう
消費者の参画・協働	協力することの大切さを知ろう	身近な消費者問題に目を向けよう	身近な消費者問題及び社会課題の解決や、公正な社会の形成に向けて取り組むことの重要性を理解しよう	地域や職場で協働して消費者問題その他の社会課題を解決し、公正な社会をつくろう
	消費者の参画・協働	身の回りのものを大切にしよう	身近な消費者問題及び社会課題の解決や、公正な社会の形成に向けて取り組むことの重要性を理解しよう	地域や職場で協働して消費者問題その他の社会課題を解決し、公正な社会をつくろう
商品等の安全 安全と危険を回避する能力	くらしの中の危険や、もの取扱いに気をつけよう	危険を回避し、物を安全に使う手がかかりを知ろう	危険を回避し、物を安全に使う手がかかりを知ろう	安全で危険の少ないくらしと消費社会をつくろう
	商品等の安全	危険を回避し、物を安全に使う手がかかりを知ろう	危険を回避し、物を安全に使う手がかかりを知ろう	安全で危険の少ないくらしと消費社会をつくろう
トラブル対応能力	困ったことがあったら身近な人に伝えよう	困ったことがあったら身近な人に相談しよう	販売方法の特徴を知り、トラブル解決の法律や制度、相談機関を知ろう	トラブル解決の法律や制度、相談機関を利用しやすい社会をつくろう
	トラブル対応能力	困ったことがあったら身近な人に伝えよう	販売方法の特徴を知り、トラブル解決の法律や制度、相談機関を知ろう	トラブル解決の法律や制度、相談機関を利用しやすい社会をつくろう
選択し、契約することへの理解と考える態度	約束やきまりを守ろう	物の選び方、買い方を考え、適切に購入しよう	商品と契約のルールを知り、よりよい契約の仕方を考えよう	契約と自分のルールを理解し、くらしに活かそう
	選択し、契約することへの理解と考える態度	物の選び方、買い方を考え、適切に購入しよう	商品と契約のルールを知り、よりよい契約の仕方を考えよう	契約と自分のルールを理解し、くらしに活かそう
生活を設計・管理する能力	欲しいものがあったときは、よく考え、時には我慢することをおぼえよう	物や金銭の大切さに気づき、計画的な使い方を考えよう	消費に関する生活管理のスキルを身に付けよう	生涯を見通した計画的な計画・管理を実践しよう
	生活を設計・管理する能力	物や金銭の大切さに気づき、計画的な使い方を考えよう	消費に関する生活管理のスキルを身に付けよう	生涯を見通した計画的な計画・管理を実践しよう
情報の収集・処理・発信能力	身の回りのさまざまな情報に気づこう	消費に関する情報の集め方や活用方法を知らそう	消費生活に関する情報の収集と発信の技能を身に付けよう	情報と情報技術を適切に利用するくらしをしよう
	情報の収集・処理・発信能力	消費に関する情報の集め方や活用方法を知らそう	消費生活に関する情報の収集と発信の技能を身に付けよう	情報と情報技術を適切に利用するくらしをしよう
情報とメディア	自分や家族を大切にしよう	自分や知人の個人情報を守るなど、情報モラルを守ろう	著作性や発信した情報への責任を知ろう	トラブルが少なく、情報モラルを守られる情報社会をつくろう
	情報とメディア	自分や知人の個人情報を守るなど、情報モラルを守ろう	著作性や発信した情報への責任を知ろう	トラブルが少なく、情報モラルを守られる情報社会をつくろう
消費生活情報に対する批判的思考力	身の回りの情報から「なぜ」を聞いて考えよう	消費生活情報の目的や特徴、選取の大切さを知らそう	消費生活情報の評価、選取の方法について学び、社会との関連を理解しよう	消費生活情報を主体的に評価して行動しよう
	消費生活情報に対する批判的思考力	身の回りの情報から「なぜ」を聞いて考えよう	消費生活情報の評価、選取の方法について学び、社会との関連を理解しよう	消費生活情報を主体的に評価して行動しよう

※本イメージマップで示す内容は、学校、家庭、地域における学習内容について体系的に組み立て、理解を進めやすくなるよう整理したものであり、学習指導要領との対応関係を示すものではありません。